

# い なり やま 稲荷山遺跡

- 1 所在地 はなおか 鹿屋市花岡町
- 2 起因事業 一般国道 220 号古江バイパス建設
- 3 調査年度 平成 20 年度～ 21 年度
- 4 主な時代 縄文早期・古墳・古代・中世
- 5 遺跡の概要

稲荷山遺跡では、縄文時代晩期（約 2,700 年前）及び古墳時代のたてあなじゅうきょあと 竪穴住居跡が検出されました。古墳時代の竪穴住居跡は 5 軒検出され、3 軒は切り合い関係から 4 世紀に建て替えが行われたことが分かります。また、この住居跡周辺では多数のなりかわ 成川式土器（ひがしはる 東原式土器段階及びささぬき 笹貫式土器段階）が集中して出土しました。



# ちん じゅ やま 鎮守山遺跡



- 1 所在地 鹿屋市古里町
- 2 起因事業 一般国道 220 号古江バイパス建設
- 3 調査年度 平成 20 年度～ 22 年度
- 4 主な時代 縄文早期・古墳・古代
- 5 遺跡の概要

鎮守山遺跡では、古墳時代の竪穴住居跡が 20 軒検出されました。中でも笹貫式土器段階（6 世紀）の住居跡が多く、切り合いも多く見つかりました。当時の人々はこの地で繰り返し住居を建て替えていたことが分かります。



稲荷山・鎮守山遺跡の出土品

